『消えた！』　　4歳児　11月　伏見こども園

エピソード

米ぬか遊びを続けている中で、米ぬかと水の量を加減することで、米ぬかの硬さが変わることに気付いてきています。この日は A ちゃんがまな板の上に、サラサラの米ぬかを山のようにして置き、指で穴をあけました。「穴があいた」と嬉しそうにつぶやき、スプーンで少量の水をそーっと穴に入れると…「うわぁ」と溜まった水を見て声を出したかと思うと「消えた」と言いました。そして水が消えた米ぬかを混ぜて山にして、また穴をあけました。そしてスプーンに水を汲んでは穴に入れ、また山にしては水を入れ…繰り返し遊びました。繰り返し遊ぶうちに、だんだん米ぬかの質感が変わって来て、「冷たいし、ポロポロになってきた」と言いました。

その日、遊びが終わって、保育室で遊びの振り返りの時間に、米ぬかの映像が出てくると、A ちゃんは繰り返し遊んで気付いたことや楽しかったことを話しました。すると周りで聞いていた B ちゃんは、「砂場の砂も同じだったよ！」と話しました。それを聞いて C くんも「僕も知ってる！砂場で穴に水を入れると消えていった！同じだった！」と言いました。同じ経験をしていた D ちゃんも「水がしみ込んでいくんだよね！」と気付いたことを話していました。

子どもの育ちや学び

① サラサラの米ぬかを山のように積んで指で穴をあけました。少量の水を入れるとどうなるか試しています。

②米ぬかの穴に水を入れると、水が溜まった後すぐに水が消えた現象に驚き、不思議と思いました。

水が溜まった後に消えていくことを確信し、何度も繰り返して楽しさを感じていました。

③遊びの振り返りで気付いたことや感じたことを言葉にして話しました。

自分の経験と重ね、同じだったことに共感し言葉で伝えました。

水が消えていくことを“しみこんでいく”と知っている言葉で伝えました。

保育者の思い

・サラサラの米ぬかを山にして穴をあけ、水を入れるとどうなるか、試そうとしている姿を見守りたいと思いました。
・米ぬかに水を入れることで、水が消えていく現象に気付き、不思議と思ったことを何度でも楽しんでほしいと思いました。
・遊びの振り返りで、自分の遊びで感じた事をみんなに伝えてほしいと思いました。
・これまでの経験を思い出して言葉にしている姿を、さらに周りの友達にも伝えて思いを共有していきたいと思いました。

家庭だったら

子ども達は、楽しいと感じると繰り返し遊ぼうとします。また、不思議だなと感じたり、どうなるんだろうと思ったりすると試してみようとする姿も見られるようになってきました。子ども達の“うわぁすごい”“何でだろう”“やってみよう”の気持ちをぜひ見つけてみてください！